
天体観測

てんとう虫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天体観測

【Nコード】

N1899B

【作者名】

てんとう虫

【あらすじ】

寒い冬の外、少年と少女は何を話すのかすごい、あっさりしてます。

北海道の冬は寒い、

夜になるとそれ以上だ。

誰もが外に出たがらないなか

少年と少女は、川べりで空を見ていた。

「寒くない？」

「大丈夫」

「星見えた？」

「まだ」

「いつになったら見えるかな？」

「わかんない」

「もう1月だよ」

「うん」

「あたしのこと好き？」

「・・・うん」

「彼女は誘わなっかたの？」

「寒いからいやだって・・・」

少年は双眼鏡のレンズから暗い空を見る

少女はその後ろで少年を見る

「いつ終わるかなあ？この関係・・・」

「・・・」

少年が後ろを振り向くことは無い

少女が泣き出すことも無い

「あっ・・・」

「見えた？」

「うん」

「なんて言う星？」

「わかんない・・・」

「わかんないのに好きなの？」

「好きだよ」

「どっちが？」

「・・・どっちも・・・」

「ずるくない？」

「わかってる・・・」

「・・・大丈夫、待ってるから」

少年は立ち上がった

少女も立ち上がった

「帰ろうか」

「そうだね」

「寒い？」

「ちょっとだけ」

少年は手を触わる

少女は手を触られる

「・・・別れたら・・・」

「え？」

「彼女と別れたら一緒にいてくれる？」

「別れなくても一緒にいたじゃん」

「そっか」

「
そうだよ」

少年と少女は手をつないで帰って行った。

（後書き）

初めてこういう小説を書きました。

なんか背中がかゆくなります

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1899b/>

天体観測

2010年12月1日08時59分発行